

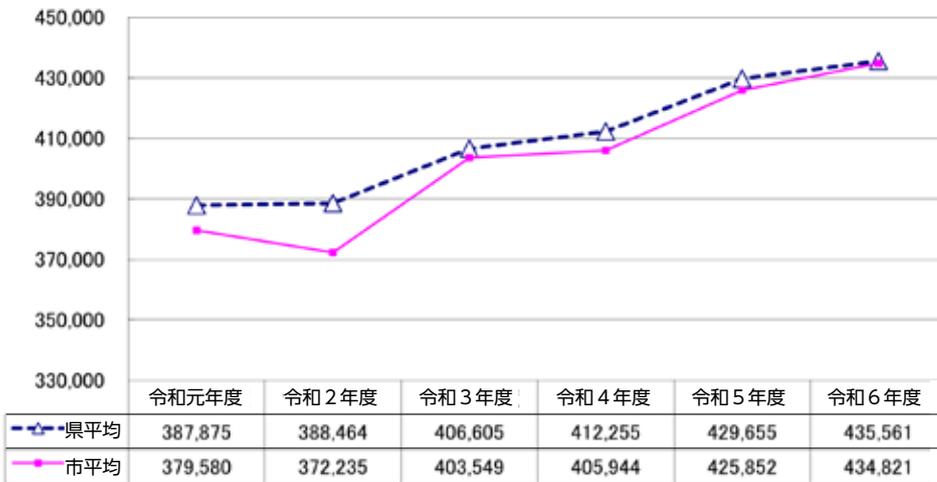


病気の予防、早期発見、 早期治療に努めましょう

国民健康保険(国保)は病気やけがをしたとき、病院を受診する際の医療費の一部を負担する制度です。加入者の皆さんが納めた国民健康保険税(国保税)や県支金などで運営しています。

- 医療費の増加を抑えましょう
日頃から健康について一人一人が意識し、次のようなことに取り組むことで、大切な医療費を適正に使えるようにしましょう。
- 市の健診事業(特定健診、若年者健診)を利用し、病気の予防、早期発見、早期治療に取り組みましょう。
- 同じ病気で複数の医療機関にかかることは、医療費の増加だけでなく体にも負担を与えるため避けましょう。
- 生活習慣病の悪化はさまざまなか合併症を引き起こし、医療費の増加につながります。食事や運動習慣を見直し、できることから予防を心掛けましょう。

● 問い合わせ
保険年金課
(☎) 656・6528



▲ 1人当たりの医療費の推移 (単位:円)

● 市の現状
令和6年度の1人当たりの医療費は、県の平均が43万5561円に対し、市は43万4821円と県内標準並みとなっています。
令和5年度からの伸び率で見ると、県平均は約1.4%増、市では約2.1%増と市の伸び率が県平均を約0.7ポイント上回っています。